

まちづくりワークショップ

美祢市では中心市街地地区の整備に向けて動きはじめています!

本庁舎などの整備が進む中心市街地地区を対象に、まちのパブリックスペースを活用する具体的なアイデアを出し合い、新たなまちの姿（イメージ）を考えるワークショップを行っています。第1回は26名の皆さんに参加いただき9月26日に実施しました。その続きとして11月21日に開催した第2回の様子をこのニュースレターでお届けします。



第2回のスケジュール

第1回の結果報告

- 昨年度のおさらい
- グループワークで出た各班のアイデア・意見
- 全体方針の確認

プレイヤーにインタビュー

- チーム内の対話力アップにむけて
- 学生が積極的に発言
- 美祢市内の活動を可視化

グループワーク

- 意見交換する場所をピックアップ
- 自分なら何をしたい？何があれば活動しやすい？を提案

デザイン方針の確認

- 発表のまとめ
- デザインに盛り込む要素の確認
- ふりかえりシート

ワークショップの様子をのぞいてみよう!

プレイヤーにインタビュー

チームで意見を出し合う前に、各班のプレイヤー1名(まちづくり活動実践者)に体験談をインタビュー。具体的な活動内容や実践方法を聞きワークでの対話に繋がります。

1班 | 草刈り・清掃活動

Aさん

まちをきれいにしたいという意識があって、身近な場所での草刈りや清掃活動を実施している。仕事が始まる前のちょっとした時間を使って、やっている。

やれない理由はいくらでもあるが、やる理由を見つけてやるのが大切だと思う。

声をかけて一緒にやってくれる人はたくさんいるが、自ら主体的にできる人は少ない。横への広がりがなかなかできないのが課題。

2班 | NFTとまちづくり

Uさん

NFT（デジタル住民票や資産価値に応用できるコピー不可のデータ）を活用したまちおこしを実施している。作成したNFTは美祢市をモチーフにしたイラストが多く、ふるさと納税などを活用しながら、まちを活性化していきたいとのこと。



Uさんが作成したNFT

3班 | 美祢さくらまつり

Sさん (みね桜まつり実行委員会)

さくらまつりでは、美祢の竹で竹灯籠を作り、川辺に限らずまち全体に設置した。街灯や建物などのまち以外の‘灯り’がとてもきれいで、美祢のまちを盛り上げるために実施した。

今ではこのイベントに市内外問わず多くの方が参加され、美祢まで足を運んでいたのがうれしい。

4班 | 音楽・芸術活動

Sさん (アートみねまち実行委員会)

美祢市に音楽と芸術を根付かせたいという思いで、音楽活動や切り絵展を開催。

昨年市役所でライブを開催し、35年ぶりに音楽活動を開始。50歳を超えて、やりたいことをやっていきたい。騒音の苦情など、活動する場所がないのが課題。

いろいろな年代の人たちで活動をしたい。若い人が生演奏を聴く場所がないので、もっと音楽に触れてほしい。

5班 | まちづくり・ひとづくり

Hさん

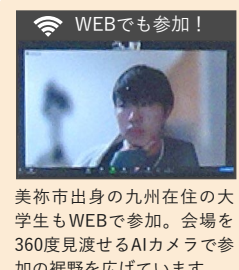
父が美祢青年会議所に所属していたので、同じく美祢青年会議所に所属しました。

川遊びや、マウンテンバイクレースを企画運営しました。レースには、市外からも参加者が集まりました。

まちづくりは、辛いこともあるが、何より楽しい。また、自分が成長しているのを感じることができま。ワークショップというまちづくりの場を是非活かしたい。

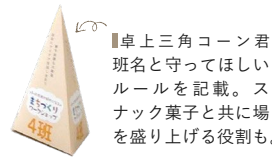
グループワークの様子

参加者は総勢37名！高校生から50歳代まで多様なバックグラウンドをもつ市民が集まりました。意見やアイデアを交わし、まちの未来を創造します。



美祢市出身の九州在住の大学生もWEBで参加。会場を360度見渡せるAIカメラで参加の裾野を広げています。

- ワークショップグッズ 三種の神器
- 模造紙
 - ふせん
 - マーカー
- マーカーは裏うつりしないブロックキーを使用。その他にも名札や緊張ほぐしのためのお茶とスナック菓子なども準備します。



■車上三角コーン君 班名と守ってほしいルールを記載。スナック菓子と共に場を盛り上げる役割も。

まちのスケッチをA0サイズの模造紙に印刷し机の中央に置きます。そこに皆さんのアイデアを書いた付箋を貼り意見をまとめていきました。具体的なアイデアは次頁へ

場所を選んで意見交換「何があれば活動しやすい？」

5つのシーンを描いたスケッチをみて、「自分ならそこで何がしたいか、何があれば活動しやすいか」を考えてもらい、各班で意見をまとめ発表しました。

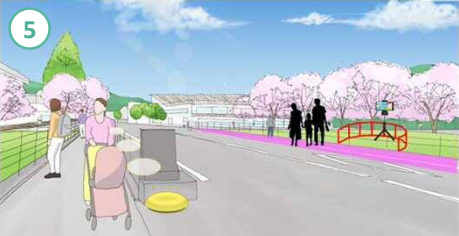
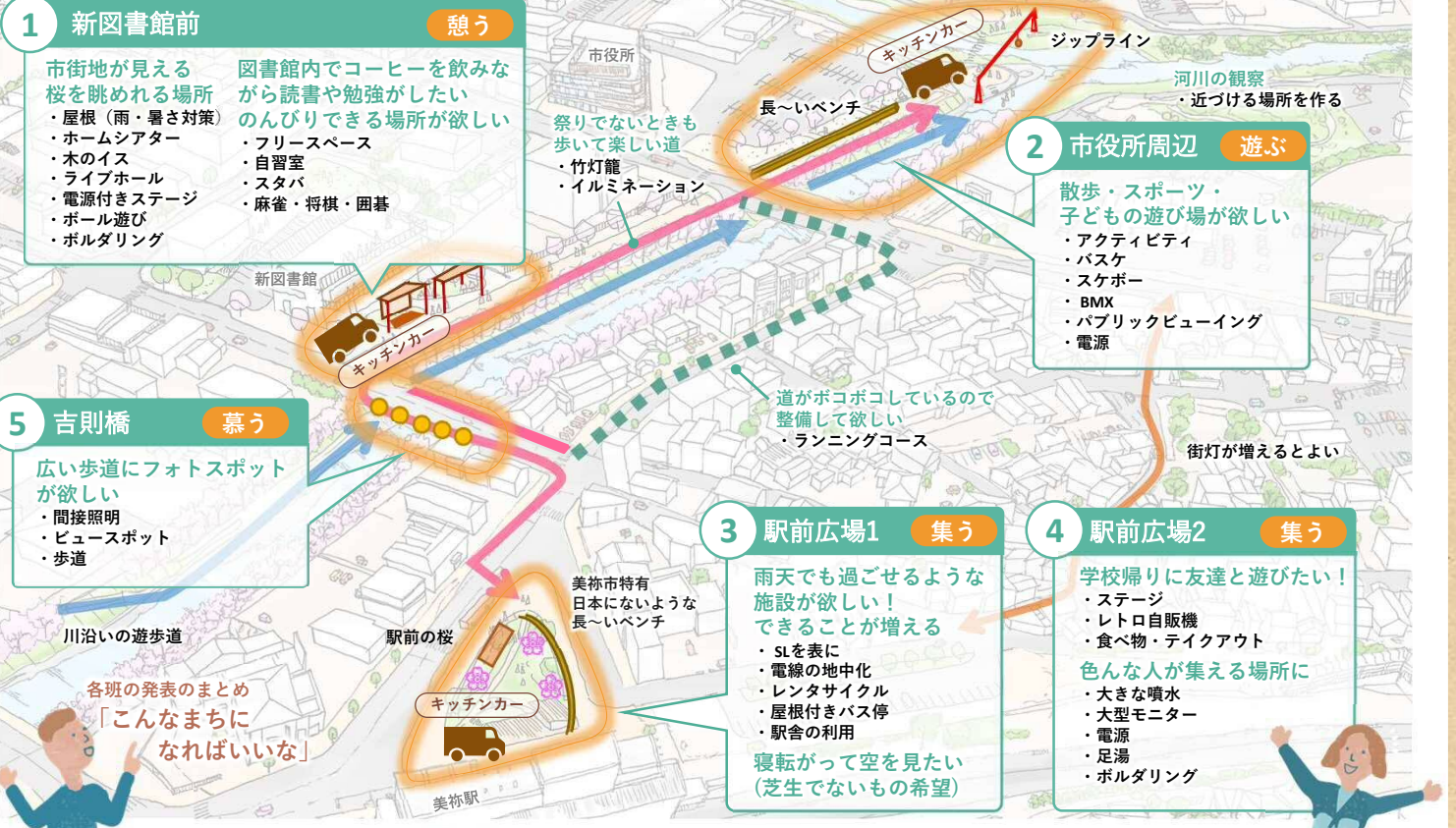
いろいろな人が集まって、上手に使いこなすことで、賑わいが生まれる様子が伝わってきますね。



子どもからお年寄りまで楽しめる、食や文化の空間。使いやすく落ち着く場所



華やかなキャンパスのようなまち。ひとが集まるアソビバ。市外の人も集まりやすい市役所周辺



“咲くライン”を作ろう！桜✓明り✓笑顔が咲く



みんなの場所（ステージ）スタバのある町



人がつながる駅前

皆さんからいただいた意見を元に、美祿のまちの未来を「デザインノート」という形にまとめていきます。今後も、皆さんと美祿のまちの未来を共有できる機会を設けていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ワークショップ後にいただいた「ふりかえりシート」のご意見

- 記入項目**
- ①各班の発表について
 - ②まちの全体方針
 - ③その他
- 編集担当目録での
- 印象深い感想の紹介**
- 市民のみなさんの考えや思いが反映されるまちづくりは本当に理想的な形だと思います。
 - 全ての年代の人が暮らしやすいまちになると思った。
 - これからの美祿がどう発展していくのか、楽しみにになりました。
 - 大人の目線と高校生の目線が違って勉強になりました。

